

# 授業科目 看護過程演習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
石塚 敏子、佐藤 信枝、川崎 久子、 高橋 智美		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【一般目標：G10】					
看護を実践するための思考過程である看護過程について理解し、その活用方法を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護過程の定義について述べることができる。</li> <li>2. 看護過程の各段階（アセスメント、看護問題の明確化、計画、実施、評価）について説明できる。</li> <li>3. ヘンダーソンの看護論の概要について説明できる。</li> <li>4. ヘンダーソンの看護論に基づく看護過程の構造と機能について説明できる。</li> <li>5. ヘンダーソンの看護論を用いて事例の看護過程の展開ができる。</li> <li>6. 看護過程の展開の意義を述べることができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	科目ガイダンス・看護過程概説			1	講義
2	看護過程の各段階			2	講義
3	ヘンダーソンの看護論の概要			3	講義
4	ヘンダーソンの看護論による看護過程（1）			4	講義
5	ヘンダーソンの看護論による看護過程（2）			4	講義
6-14	演習（事例展開）			5	グループワーク（基礎看護学全教員）・講義
15	看護過程まとめ			6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ	茂野香ほる著者代表	医学書院	2011・2,600円＋税
		看護の基本となるもの	Virginia Henderson	日本看護協会出版会	2006・1,000円＋税
参考書		ヘンダーソンの看護観に基づく看護過程 第4版—看護計画立案モデル	焼山 和憲	日総研	2007・2,600円＋税
		基本から学ぶ看護過程と看護診断第6版	Rosalinda alfaró-LeFevre	医学書院	2008・2,600円＋税
その他の資料		配布資料			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
学科試験：30% 出席状況、自己学習、演習の達成状況：70%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・この科目は、基礎看護学実習Ⅱを履修する上での前提科目である。</li> <li>・演習に際しては、十分な自己学習が必要である。</li> </ul>			